

藻類・表層はく離の専用除草剤!!

使用方法の動画は
こちらから▼



モゲトン® 粒剤

- モゲトン→初期剤の体系処理がおすすめです!
- 主剤の拡散を妨げるウキクサ・藻類を先に枯らしましょう!

初期剤 単用の場合

藻類が多いと、除草剤の
拡散がブロックされます。



初期剤のみ、初期剤 A 処理 10 分経過

薬剤処理箇所 ※室内試験による



モゲトンは
晴天日の朝に散布すると
効果が早く現れます。

そこで

モゲトン®

先にモゲトンで枯らした藻類の上
を主剤が拡散していきます!



モゲトン処理 48 時間後、初期剤 A 処理 10 分経過

写真：社内試験資料

◆適用作物と使用方法 (抜粋)

R4.2.28 現在

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量 (10a 当り)	本剤の 使用回数	使用方法	A C N を 含む農薬の 総使用回数
移植水稻	ウキクサ類 藻類 (アオミドロ、アミミドロ)	ウキクサ類、藻類の 発生始～発生盛期 但し、収穫 45 日前まで	2 ~ 3 kg	3 回以内	湛水散布 又は 無人ヘリコプター による散布	3 回以内
	藻類 (アオミドロ、アミミドロ) 藻類による表層はく離	藻類・表層はく離の 発生時 但し、 収穫 45 日前まで	2 kg		水口施用	
	藻類による表層はく離		1 ~ 2 kg			
	ウリカワ	ウリカワの増殖初期 (2 ~ 4 葉期) 但し、 収穫 45 日前まで	3 ~ 4 kg		湛水散布 又は 無人ヘリコプター による散布	
	ヒルムシロ	ヒルムシロの発生始～ 増殖始 但し、 収穫 45 日前まで				

●使用前にはラベルをよく読んでください ●ラベルの記載以外に使用しないでください ●小児の手の届く所には置かないでください



水口処理の方法



①モゲトン粒剤の所定量を
ネットに入れます



水の勢いが強いほど拡散します

写真では洗濯ネットを使用しています

②ネットに直接水流が当るように杭などに結びつけ設置します



写真では洗濯ネットを使用しています

③粒剤が溶けてから、しばらく水を流し続けます

※ネット投入時にモゲトン粒剤が漏れ出るため、畔などで投入する際は敷物を敷くか水田内で投入する等、漏出に注意してください。

藻類の発生初期～中期は水口処理（2kg/10a）で簡便な処理が可能です。

■ 使用例（水田面積 90a、水口 3 か所 ◆、処理量：2kg/10a）

約 1 時間で水田の半分まで拡散

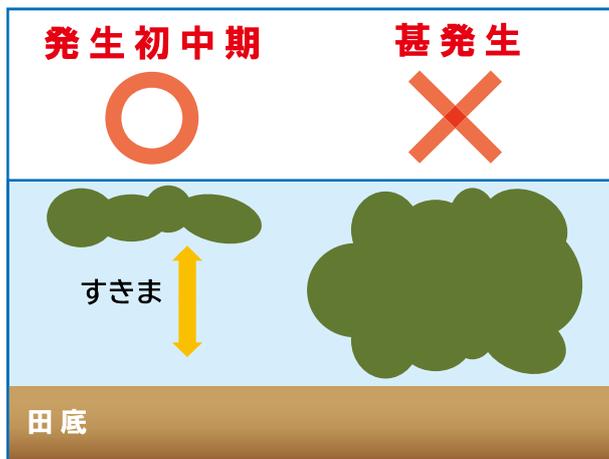


水口施用開始約 5 分後



水口施用開始約 1 時間後

水田底～藻類の間にモゲトンが流れる空間がある状態で処理してください。



処理のポイント

- ・ 処理前に圃場の水位をできる限り低下させてください。
- ・ モゲトン粒剤を所定量秤量し、ネットに投入してください。
- ・ 水の吐出部近くに設置してください。
- ※ 稲に直接当たらないようにしてください。
- ※ 直播水稻では使用できません。
- ※ 水流の程度によって拡散時間は異なります。
- ※ 約 30a（水口 1ヶ所）が限度となっています。
- ※ 稲が水没しないようにしてください。（薬害）



晴天日の朝に処理を行うと効果をしっかり引き出します！

